

今年の OPJ は盛りだくさん

OPJ 2018 プログラム委員長 山本裕紹
(宇都宮大学)

年次学術講演会 OPJ 2018 の時期となりました。講演会の会場は昨年と同じですが、今年の OPJ は今までの OPJ とは一味違います。担当委員のご尽力で練りに練られた企画や、新しい取り組みが満載です。たとえば、講演会場の名称にネーミングライツを設定しました（プレナリーセッションの会場がどのような名称になるかは当日のお楽しみです）。受付でも新しい試みがあります。

本号巻頭のタイムテーブルに記載の順に見どころを紹介します。① OSA とのジョイントシンポジウムが発展しました。② 他学会との交流企画が盛りだくさんです。③ 学会誌「光学」との連携シンポジウムを開催します。④ 最終日には特別イベントが企画されています。⑤ プレナリーセッションを充実させ、かつスピーディーにします。

① 国際シンポジウム

これまでの OSA と OSJ のジョイントシンポジウムに韓国光学会 (OSK) が加わり、「2018 Joint Symposia on Optics hosted by Optical Society of Japan」として開催されます。Applied Optics と Optical Science の分野で多数の一般投稿と注目トピックスの招待講演で構成されます。来年は韓国で開催です。

② 他学会等との交流企画

10月31日午前には、光設計賞記念講演に先立ち、台湾光電学会 Taiwan Photonics Society (TPS) から Micro LED や LED 照明など光設計関連の招待講演（英語）をいただきます。光設計賞の内容（日本語）とともに、光設計分野の最新動向を俯瞰できます。続いて、11月1日にはタイ光学会 Thailand Optics and Photonics Society (TOPS) との交流を記念した招待講演が、ナノ光学および量子エレクトロニクスのセッションの冒頭で行われます。

11月1日には、日本医用画像工学会 (JAMIT) とのジョイントシンポジウムが開催されます。プレナリー講演では、庄野逸先生（電通大）に AI 入門のチュートリアル講演をいただき、その後、AI 診断、コンピュータ支援診断、細胞イメージングの機械学習などの招待講演が予定されています。

なお、同日午後には、10月付で新たに発足予定の AI Optics 研究グループによるキックオフシンポジウムが開催されます。AI 分野の教科書「深層学習」（講談社）の著者である岡谷貴之先生（東北大学）の招待講演も予定されています。

11月2日午前には、レーザー学会とのジョイントシンポジウム「ロボットフォトニクス」が開催されます。ダイナミックな環境での画像計測など、最新の事例が紹介されます。新しい光学部品・光学技術を発想するヒントの多いシンポジウムです。

11月2日午後には、自動車技術会に企画協力をいただいた「次世代モビリティ」に関するシンポジウムが開催されます。自動運転時代に求められる光学は何か？ 光学分野からはなかなか深く議論がなされにくかった領域について、自動車関連の専門家から最新動向をご講演いただきます。

③「光学」連携シンポジウム

本号掲載の特集に興味を持たれた方は、ぜひご参加ください。「光学」9月号の特集と連動した「ナノ材料・ナノ構造化による高効率光エネルギー変換技術」に関するシンポジウムが11月1日午後開催されます。特集記事の執筆者に出会える機会をお見逃しなく。

④ 特別イベント

最終日11月2日午後には、本学会の元幹事長でもある鶴田匡夫先生による「『光の鉛筆』完結記念イベント」が予定されています。ご講演だけでなく、貴重な資料もご準備いただいていることを伺っており、楽しみな企画です。

⑤ プレナリーセッション

各種表彰式をスピーディーかつ充実させた上で、石川正俊先生（東京大学）に基調講演「高速画像処理が拓く知能システムの未来」をいただきます。

一般投稿の件数も例年よりも1割増しです。医療・AI・自動車・ロボットのシンポジウムなど、各種企画が満載の OPJ 2018 にぜひお越しください。